

令和5年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ハスモンヨトウ（ダイズNo. 2）

令和5年9月20日
鳥取県病害虫防除所

1 発生状況及び今後の予想

- (1) 9月中旬現在、巡回調査定点のダイズほ場における発生は、発生ほ場率96.7%（平年：71.8%）、平均白変か所数3.9か所/a（平年：1.2か所/a）で、やや多い。
- (2) 9月第3半旬現在、フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数は、平年よりやや多い。フェロモントラップの誘殺ピークは9月上旬頃と予想される。
- (3) 向こう1か月の気象予報から、今後も本虫の発生に好適な条件になると予想される。

【ダイズほ場設置】（トラップの種類：ファネルトラップ）

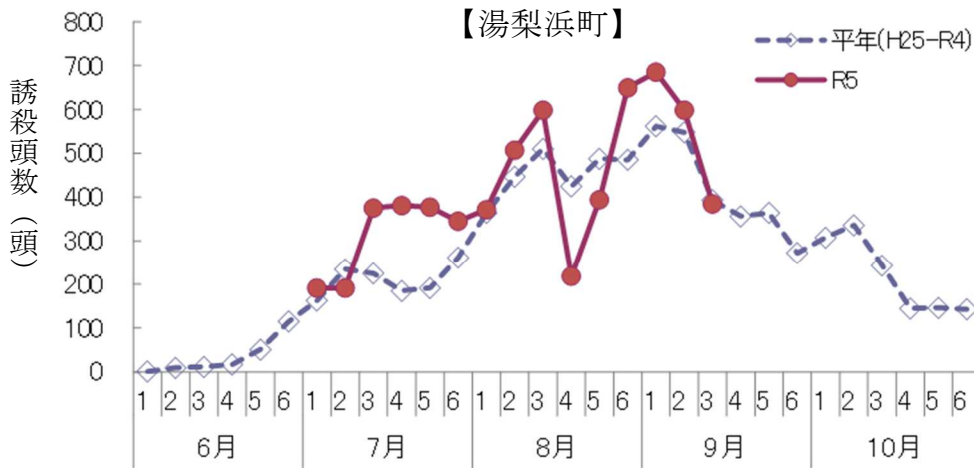


図1-1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数(調査地点:湯梨浜町はわい長瀬)

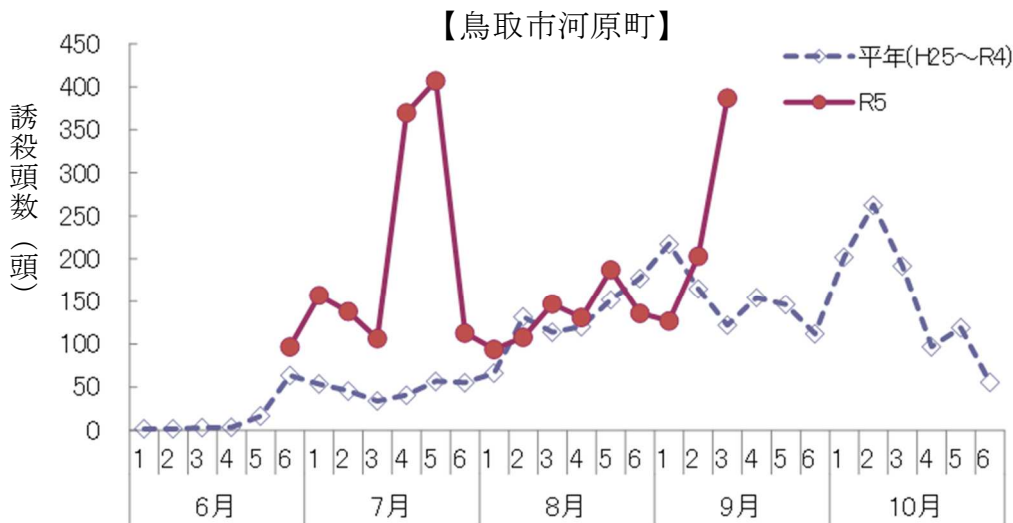


図1-2 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数(調査地点:鳥取市河原町和奈見)

【野菜ほ場設置】（参考）トラップの種類：ファネルトラップ

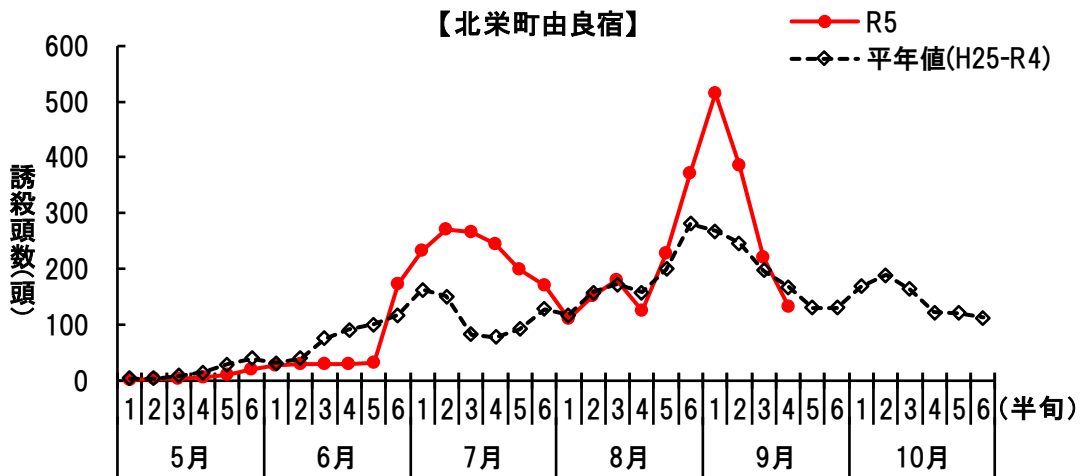


図 2-1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数（調査地点：北栄町由良宿）

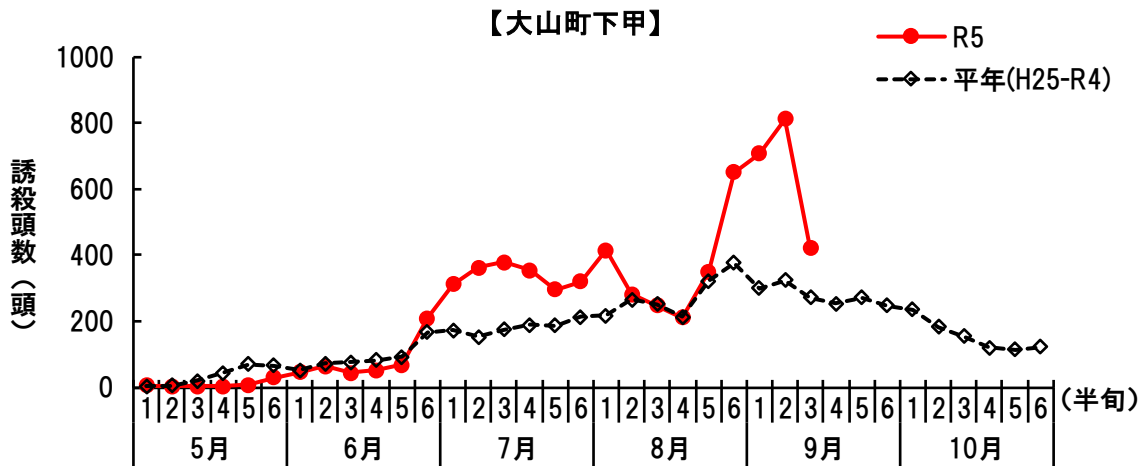


図 2-2 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数（調査地点：大山町下甲）

2 防除上注意すべき事項

- (1) 発生には地域間差、ほ場間差があるため、ダイズほ場の発生状況をよく観察し、若齢幼虫の加害によって発生する白変被害葉の早期発見に努める。
- (2) 防除の目安は、1 a 当たりの白変か所数 5 か所以上とする。
- (3) 若齢幼虫（体長 1 cm 以下）に対する登録農薬の効果は高いが、幼虫の齢期が進むと防除効果が低下するため、既に白変被害葉の発生が多くみられる場合は防除する。なお、中齢～老齢幼虫が混在する場合は、ジアミド系殺虫剤を散布する。